

学校だより

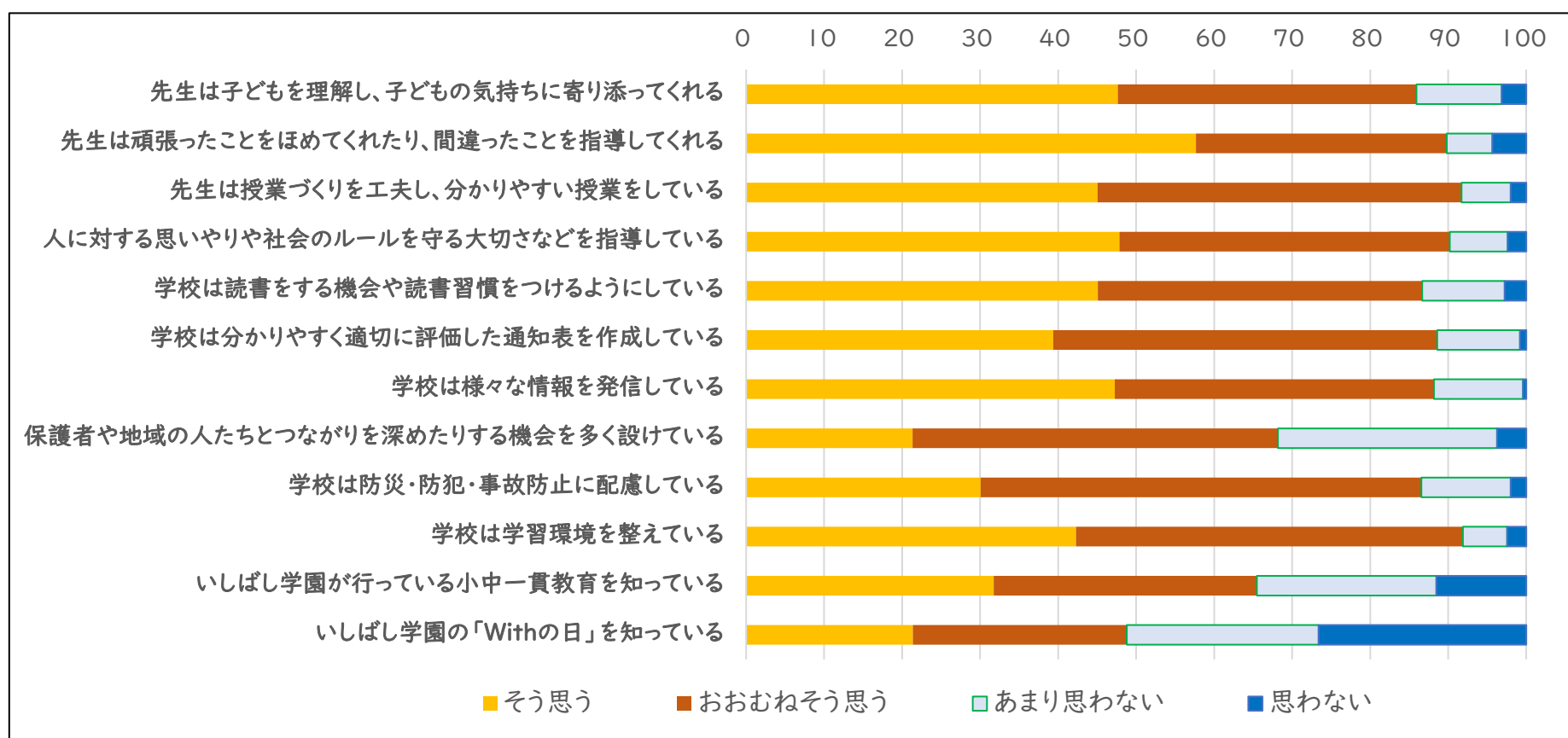
臨時号 令和4年2月

11月に実施させていただきました「学校教育及び家庭教育について」のアンケート結果を報告させていただきます。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。紙面での報告は全学年の合計です。学年別の集計は、ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。回収率は、86%でした。

学校教育について

「子どもを理解し子どもの気持ちに寄り添ってくれる」で、肯定的な回答が90%を下回っていることを真摯に受け止め、子どもたちの話をしっかり聞き子ども理解を深めていきます。「頑張ったことをほめてくれたり間違ったことを指導してくれる」や「人に対する思いやりや社会のルールを守る大切さを指導している」の肯定的な回答がより高くなるよう、学習面、学級活動、学校行事等の取り組みの中で、これまで通り、一人ひとりへの丁寧な対応をしていきます。「授業づくりを工夫し分かりやすい授業をしている」の肯定的な回答が90%を超えていることは嬉しいことです。今後も、授業づくりの工夫や分かりやすい授業の実践を続けます。昨年のアンケートで課題があった「読書の習慣」については、金曜日の朝を読書の時間にするなどの取り組みの成果が出ているのではないかと思います。

「学校は保護者や地域の方との交流の機会を多くもっている」において、肯定的な回答が80%を下回っていることは残念です。コロナ禍でも、工夫をし、つながりを深める機会を設けていく必要を感じました。「小中一貫教育」「Withの日」について肯定的な回答が増えるよう改善に努めます。



家庭教育について

基本的な生活習慣（朝食・起床・就寝など）について肯定的な回答が多く有難いです。また、「子どものよいところを見つけほめている」は肯定的な回答が95%を超えていることは嬉しいことです。子どもの成長は家庭生活が基盤となります。今後も、基本的な生活習慣の継続と意欲の高まる声掛け、見守りなど宜しくお願いします。

「学校に行くのを楽しみにしている」の肯定的な回答が今後も90%を超えるよう、一人ひとりの居場所づくり、クラスや学年の仲間づくり、行事や学習での達成感や成功体験を得る、お互いに認め合う、など大切にしていきます。

「学校からの配布物に目を通す」「子どもに学校の様子を聞く」について、肯定的な回答が高く嬉しく思います。家庭と学校が情報を共有しながら、子どもを真ん中に据え、子どもの成長を育んでいくことを大切にしていきたいです。

最後に、児童や学校の様子をホームページに掲載していきますので、ぜひご覧ください。

